

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公表番号】特表2000-508362(P2000-508362A)

【公表日】平成12年7月4日(2000.7.4)

【出願番号】特願平9-536219

【国際特許分類第7版】

C 0 8 L 63/00

C 0 8 F 2/48

C 0 8 G 59/17

C 0 8 L 51/08

C 0 8 L 77/00

【F I】

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 F 2/48

C 0 8 G 59/17

C 0 8 L 51/08

C 0 8 L 77/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月29日(2004.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】



手 続 補 正 書 (自発)

平成16年3月29日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

PCT/US97/04466

平成9年特許願第536219号

2. 補正をする者

住所(居所) アメリカ合衆国, ペンシルバニア州 19406,
ガルフ ミルズ, ルネサンス ブルヴァード 2500,
スイート 200

氏名(名称) ヘンケル コーポレーション

3. 代 理 人

住 所 〒530-0054 大阪市北区南森町1丁目4番19号
サウスホレストビル

氏 名 (9414) 弁理士 小 野 由己男

TEL 06-6316-5533



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

明細書の特許請求の範囲の欄

6. 補正の内容

(1)明細書の特許請求の範囲の欄を別紙の通り補正する。



特許請求の範囲

請求項1

放射性硬化コーティングの調製に有用な組成物であって、エポキシ成分と、エチレン性不飽和カルボン酸またはその反応性誘導体を含む酸成分とを、重合脂肪酸をベースとするポリアミドの存在下反応してできる生成物を含む前記組成物。

請求項2

前記エポキシ成分が、不飽和脂肪酸を含むエポキシ化トリグリセリドを含む、請求項1に記載の組成物。

請求項3

前記エポキシ成分が、2から10重量%のエポキシド酸素を含む不飽和脂肪酸を含むエポキシ化トリグリセリドを含む、請求項1に記載の組成物。

請求項4

前記エポキシ成分が、牛の獣脂、パーム油、豚脂、ひまし油、落花生油、菜種油、綿実油、大豆油、鯨油、ひまわり油、及び亜麻仁油から由来する油脂を含むグループから選択されるエポキシ化した油を含む、請求項1に記載の組成物。

請求項5

前記エポキシ成分が、大豆油、鯨油、ひまわり油、及び亜麻仁油を含むグループから選択されるエポキシ化した油を含む、請求項1に記載の組成物。

請求項6

前記酸成分が、アクリル酸及びメタクリル酸を含むグループから選択されたメンバーを含む、請求項1に記載の組成物。

請求項7

前記酸成分がさらに、8から24の炭素原子を含む飽和脂肪族モノカルボン酸、8から24の炭素原子を含む不飽和脂肪族モノカルボン酸、8から24の炭素原子を含む飽和ヒドロキシカルボン酸、及び8から24の炭素原子を含む不飽和ヒドロキシカルボン酸を含むグループから選択されたメンバーを含む、請求項1に記載の組成物。

請求項8

前記酸成分がさらに、偶数の炭素原子を持つ脂肪酸を含むグループから選択されるメンバーを含み、重量で酸の主たる部分が約12から18の炭素原子を持ち、すべての脂肪酸が飽和またはモノ-、ジ-、またはトリ-不飽和結合を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項9

前記酸成分がさらにラウリン酸を含む、請求項1に記載の組成物。

請求項10

前記ポリアミドが、最高約10,000の数平均分子量を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項11

前記ポリアミドが約1000から約4000の数平均分子量を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項12

前記ポリアミドが、約90℃から約130℃の範囲の融点を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項13

前記ポリアミドが重合脂肪酸とエチレンジアミンから由来する、請求項1に記載の組成物。

請求項14

前記ポリアミドが0から約25のアミン値を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項15

前記ポリアミドが0から約5のアミン値を持つ、請求項1に記載の組成物。

請求項16

前記エポキシ成分がジエポキシドを含む、請求項1に記載の組成物。

請求項17

請求項1に記載の生成物と反応希釈剤とを含む、重合可能な組成物。

請求項18

請求項1に記載の生成物を含む組成物を生地 に塗布し、前記組成物を硬化するために前記組成物を放射線に曝すことを含む、生地のコーティング方法。

請求項19

放射線硬化性コーティングの調製に有用な組成物であって、(a)エポキシ成分と、エチレン性不飽和カルボン酸またはその反応性誘導体を含む酸成分との反応生成物と、(b)重合脂肪酸に基づくポリアミドと、の混合物を含む、前記組成物。

請求項20

前記エポキシ成分が不飽和脂肪酸を含むエポキシ化トリグリセリドを含む、請求項19に記載の組成物。

請求項21

前記エポキシ成分が、2から10重量%のエポキシド酸素を含む不飽和脂肪酸を含むエポキシ化トリグリセリドを含む、請求項19に記載の組成物。

請求項22

前記エポキシ成分が、牛獣脂、パーム油、豚脂、ひまし油、落花生油、菜種油、綿実油、大豆油、鯨油、ひまわり油及び亜麻仁油から由来する油脂を含むグループから選択されたエポキシ化油を含む、請求項19に記載の組成物。

請求項23

前記エポキシ成分が大豆油、鯨油、ひまわり油及び亜麻仁油を含むグループから選択されたエポキシ化油を含む、請求項19に記載の組成物。

請求項24

前記酸成分がアクリル酸及びメタクリル酸を含むグループから選択されたメンバーを含む、請求項19に記載の組成物。

請求項25

前記酸成分がさらに、8から24の炭素原子を含む飽和脂肪族モノカルボン酸、8から24の炭素原子を含む不飽和脂肪族モノカルボン酸、8から24の炭素原子を含む飽和ヒドロキシカルボン酸、及び8から24の炭素原子を含む不飽和ヒドロキシカルボン酸を含むグループから選択されたメンバーを含む、請求項19に記載の組成物。

請求項26

前記酸成分がさらに、偶数の炭素原子を持つ脂肪酸を含むグループから選択されたメンバーを含み、重量で酸の主たる部分が約12から18の炭素原子を持ち、すべての脂肪酸が飽和されているか或いはモノ-、ジ-、またはトリ-不飽和結合を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項27

前記酸成分がさらにラウリン酸を含む、請求項19に記載の組成物。

請求項28

前記ポリアミドが最高約10,000の数平均分子量を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項29

前記ポリアミドが約1,000から約4,000の数平均分子量を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項30

前記ポリアミドが約90℃から約130℃の範囲の融点を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項31

前記ポリアミドが重合脂肪酸とエチレンジアミンから由来する、請求項19に記載の組成物。

請求項32

前記ポリアミドが0から約25のアミン値を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項33

前記ポリアミドが0から約5のアミン値を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項34

前記エポキシ成分が約2.6から約6の平均エポキシ官能性を持つ、請求項19に記載の組成物。

請求項35

請求項19に記載の生成物と反応性希釈剤とを含む、重合組成物。

請求項36

請求項19に記載の生成物を含む組成物を生地塗布し、前記組成物を硬化するために前記組成物を放射線に曝すことを含む、生地のコーティング方法。

請求項37

放射線硬化性コーティングの調製に有用な組成物を作る方法であり、エポキシ成分と、エチレン性不飽和カルボン酸またはその反応性誘導体を含む酸成分とを、重合脂肪酸をベースとするポリアミドの存在下反応させることを含む、前記方法。

請求項38

放射線硬化性コーティングの調製に有用な組成物を作る方法であって、重合脂肪酸をベースとするポリアミドと、エポキシ成分とエチレン性不飽和カルボン酸またはその反応性誘導体を含む酸成分との反応生成物とを混合することを含む、前記方法。

請求項39

請求項1に記載の生成物を含む、印刷インク組成物。

請求項40

請求項1に記載の生成物を含む、オーバープリントワニス組成物。